萬葉和歌集 十

857
47

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47

ガラス使用

857-47

萬葉集卷第十二

古今相聞往來歌類之下

正述心緒歌一百十首　合三百八十首　注或本歌三首

寄物陳思歌一百五十首　正述心緒　十首　私
　　寄物陳思　十三首
　　正述心緒　百首

問答歌三十六首　百三十七首　私

羈旅發思歌五十三首　二十六首　私

悲別歌三十一首

問答十首　私

帝國圖書館
國立國会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

アケノ夜 夜来ノ多ク心討 又ハ毎夜ニアタラキ夜ヘ

正ノ述ニ心ノ緒ヲ

我背子之朝明形吉不見今日間戀暮鴨
ワカセコガアサケノカタヨクミズテケフノアヒダヲコヒクラスカモ

我心等望使念新夜一夜不落夢見
ワガコヽロトノゾミヤモヘバアタラヨノヒトヨモキチズユメニミエケリ

與愛我念妹人皆如去見耶手不纏爲
ニハ字ヘ文字ト下ヘカヘル ウツクシトワガモフイモノヒトミナノイヘユキミルヤテニマカズシテ

比日寢之不寢敷細布手枕纏寢欲
コノゴロノイヌノフシキタヘノタクラヘキテコロモテマクホシキヨシ類

忘哉語意遣雖過猶戀
ワスルヤハモノガタリシテコヽロヤリスグトスギズナホコヒラヌ

夜不寢安不有白細布衣不脫及直相
ヨルモネヤスクモアラズシロタヘノコロモヲトカズタヾニアフマデ 二類

後相吾莫戀妹雖云戀間牟經乍
ノチニアハムワレナコヒソトイモハイヘドコフルアヒダニトレハヘニツヽ

直不相有諾夢谷何人事繁

或本歌曰寢者諾毛不相夢左倍 寤

烏玉彼夢見繼哉袖乾日無吾戀矣

現直不相夢谷相見與我戀國

寄物陳思

人所見表結人不見裏紐開戀日太

人言繁時吾妹衣有裏服矣

眞珠眼遠兼念一重衣一人服寢

白細布我紐緒不絶間戀結爲及相日

新治今作路清聞鴨妹於事矣

山代石田杜心鈍手向爲在妹相難

菅根之惻隱照日乾哉吾袖於妹不相爲

妹戀不寢朝吹風妹經者吾共經

飛鳥河高河避紫越來信今夜不明行哉

八釣河水底不絶行水續戀是比歲

或本歌曰水尾母不絶

長流云磯上公名上ヘ石上ニ生メ多ル物ナリ八立名ノオホキト云ヘル師云女ヲ松ニタトフル小松ハ手松ニテ吾妹子ノコトヲ云
綜後撰恋ニオビ給ヘルヲテ恋ワビヌルヲ云ヘリ

磯上生小松名惜人不知戀渡鴨
イソノウヘニオフルコマツノナヲヲシミヒトニシラレズコヒワタルカモ
或本歌曰巖上爾立小松名惜人爾者不云戀渡鴨
イハノウヘニタテルコマツノナヲヲシミヒトニハイハズコヒワタルカモ

新千恵一　人死　谷川ノ　今恋ワタル哉

古本ニ過ヌル神小菅ハ神松ナドヽ云ニヤカヽル

戀渡鴨
コヒワタルカモ
山河水陰生山草不止妹所念鴨
ヤマカハノカゲニオフルヤマスゲノヤマズモイモガオモホユルカモ
淺葉野立神古菅根則隱誰故吾不戀
アサバノニタツヤカミウラノスガノネノシヌビニナニヘニカワガコヒサラム
師云神古ハ神ヒサヽ
或本歌云誰葉野爾立志奈比垂
（未考竹葉野ヒ云成ヘシ）
右二十三首柿本朝臣人麻呂之歌集出
正述心緒
一云

コト云テキト曲
負女ナドヲヌルヤ

吾背子乎且今且今跡待居爾夜更深去者嘆
ワガセコヲケフカケフカトマチヲルニヨノフケユケバナゲキ
鶴鴨
ツルカモ
玉釧卷宿妹母有者許増夜之長毛歡有倍吉
タマクシルマキヌルイモモアラバコソ（僧）ヨノナガケキモウレシカルベキ
人妻爾言者誰事酢衣乃此紕解跡言者孰言
ヒトヅマニイフハタガコトゾサ衣ノコノヒモトケトイフハタガコト
如是許將戀物其跡知者其夜者由多爾有益
カクバカリコヒムモノゾト（狭ヘ平下ノ間ニ入ヘシ）知者（トク起別ニテ帰ニ悔シキト云ヘリ）ソノヨハユタニアラマシ
物乎
モノヲ
戀衣毛後將相跡思許増已命乎長欲爲禮
コヒツヽモノチニモアハムトキモヘコソイノチヲナガクホリスレ
今者吾者將死與吾妹不相而念渡者安毛無
イマハワレハシナムヨワギモアハズテオモヒワタレバヤスケクモナレ
（官本元）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

ワガセコガ　コムトカタリシヨ　ハスギヌレヤサラク
我背子之将来跡語之夜者過去思咲八更
オモヒニ　リコメヤモ　来ハセマジ
思許理来目八面
ヒトゴトノ　ヨゴスヲ（言ヲ悪ニ誤スル）キテタマボコノ　ミチニモ　アハズシテ（トイヘル）ワギモ
人言之讒乎聞而玉桙之道毛不相常云吾妹
アハヌシモ　ウレトキモヘバ　イヤマシニ　ヒトゴトシゲクキコエ　コムカモ
不相毛懸常念者彌益二人言繁所聞来可聞
サトヒトトモ　イヒツゾ（カメリ）名放　（心ニ子ヲ通ス）子ロヨシエヤシ
里人毛謂告我禰縦咲也思。戀而毛将死誰名
ナラメヤ　（継ニ借）
将有哉

遣

タレカナルツカヒヲナシテ　（心使ヒ豊陽高野雑筆）コヽロヲ　ゾツカヒニ　ヤリシ　（仁メニ三エキヤ）
誰可成使乎無跡情乎曽使爾遣之夢所見哉
アメツチニ　スコシイタラヌマヽスラヲト　オモヒシワレヤヲ　ゴロモナキ
天地爾小不至大夫跡思之吾耶雄心毛無寸

（我月ナガラ人目心ナシテ思フ人モエミズト）

サトヲカクイヘヤ　ヲルベキモコノワガメノ
里近家哉應居。此吾目之
イツハヘナ　モ　コヒズ　アリトハ　アラネドモ　タヽ　コノゴロコヒ
何時奈毛不戀有登者雖不有得田直比来戀
ノ　（ゴノ年モ助詞ヘ南ト云心テニハノナシト助詞ト云リ心得ワクヘシ）
之繁母
ヌバタマノヨヒ　テノ　モノオモヒニ　サケニシムチハ　ヤムトキモ
黒玉之宿而之晩乃物念爾割西胷者息時裳
ナシ　（古今ヒルトイヘハ枕ダニセデ子シモノラナリナヌ名ノ空ニ立ラム）
無
ミソラユクナノ　ワレハナシ　アマタトシノ　ヘヌレ
三空去名之惜毛吾者無不相日數多年之經
ハ（ヨル名ノ立）
者
ウツヽニモ　イモニミノレ　（願詞ヘ）ガ　ユメニノミタモトマキヌ（テヌル）ト　ミレバクル
現管二毛今見牡鹿夢耳手本纏宿登見者辛

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

苔毛（シモ）

或本歌發（クギモ）句云吾妹兒乎（イモハ ナレイモニ アハズテ ツキタチテ サルスベノ タドキモ）立而居為便乃田時毛（イマハ ユケバ ヘノ ユケバヌレツツ）之經去者

或本歌云君之目不見而月之經去者（キミガメミズテツキノ ヘユケバ アハズシテコヒワタルトモ）不相而戀度等母忘哉彌日異者思益等母（ヨソメニモ キミガスガタヲ ミテコソワレコヒヤマメ イノチシナケニハ キモヒマストモ）外目毛君之光儀乎見而者社吾戀山止目命不（ワガネ）死者

一云壽向吾戀止目（イノチニムカフワガコヒヤマメ）

戀管母今日者在目杼玉連將開明日如何將（コヒツヽモ ケフハアラメドタマヘダレ アケナムアスヲ イカガカアラム）

暮（ヨヒ）左夜深而妹乎念出布妙之枕毛衣世二嘆鶴（サヨフケテ イモヲ キモヒデヽ シキタヘノ マクラモソヨニ ナゲキツル）

（一云ニ枕モソヨヾ又ハ上ニナシキ妙枕ウンヌ ゴトトシモ肩又）

鴨（カモ）

ヒトゴトハ（ヒトコチタクナリヌトモソコニ）他言者真言痛成友彼所將障吾爾不有國（サハラムワレニ アラナクニ タチ（テ）サルルタドキモ コヒワタルベシ ワガコヽロアヘツ ソラナリツチハ フメドモ）

立居田時毛不知吾意天津空有土者踐鞆（ヨノナカノ ヒトノコトゾ コヒシ。アハヌヒヲ オホ）

世間之人辭常所念莫（俗ニ云ノゾケヒ）真曽戀之不相日乎多

美
イデイカニ　ワガ　カク　コフル　ワギモコガ　アハジトイヘルコトモ　アラナクニ　（コヽタノイカイユトニ）
乞如何吾幾許戀流吾妹子之不相跡言流事
毛有莫國
ヌバ　グマノヨヲ　ナガミカモワガセ　ヨカヘルラム
夜干玉之夜乎長鴨吾背子之夢爾夢西所見
（三支夢中ノ夢）
還良武
アラタマノ　トシノヲナガク　カクコヒバ　ミコトワガイノチマタカラメヤモ
荒玉之年緒長如此戀者信吾命全有目八目
キモヒヤルスベノタドキモワレハナシ　アハズテアラマタツキノヘヌレバ
思遣爲便乃田時毛吾者無不相數多月之經
ユケバ
去者

アサユキテ　ユフベハキヽスキミユクヘニ　クモワレハ　オモヒツルカモ
朝去而暮者來座君故爾思思久毛吾者數鶴
カモ
鴨
キミヨリモノヲ　キモヘバ　ワガムネコハ　ワレテダケテノ　ケキコトゴトモナシ
從聞物乎念者我胸者破而摧而鋒心無
ヒトゴトヲ　シゲミ　コチタミ　ワギモコニ　イモニツキヨリイマダアハヌカモ
人言乎繁三言痛三我妹子二去月從未相可
（カレシ）
母
（中ノタクヒニアリ水ニウク鳧ノ如ク有ラハ君ニ逢ハヌ日モ無カルヘシ和名ニ唯南子ラ引又遊仙窟ニ思ヒ川タヘヌ身トウケヨメリ）（注ニ窟ノ心ヲカヒニ心モ有ヘシ）（是ヨリ下ノ歌ニ通ス）
（著ル所未必相著ニハアラス）
ヘニガモンミルヨチミニ　ウタカタモ　イヒツヽモ　アルカ。ワレナラバ　ツチニハキチン
歌方毛曰管毛有鹿。吾有者地庭不落空消生
（オチヌ）
イカナクニヒノトキニカ　モ　ワギモコガ　スガタアサニケニミム
何日之時可毛吾妹子之裳引之容儀朝爾食
（明ケ）
爾將見
（常ニ）

ヒトリ井テノコフルハ クルシ。タマダスキカケテ ワスレムコトハカリセヨ（モカ頻ク）
獨居而戀者辛苦。玉手次不懸將忘言量欲
ナカ〳〵ニ（默モダ）モ アラマシヲ。アヂキナクアヒ ミソメテモ（助）ワレハ
中中（默然）毛有申尾。小豆無相見始而毛吾者
（十二モセシヘ）コフルカ
戀香
ワギモ コガ（コヲ元阿野本）コヒヒヨヒキオモカゲニカ（カナシ）カルテ モトナ キモホユルカ モ
吾妹子之咲眉引面影懸而本名所念可毛
アカ子 サスヒノ クレユケバ スベヲナミ チ（ハニ）ナゲキテ コヒ（タヒ）
赤根指日之暮去者爲便乎無三千遍嘆而戀
ツヽゾ（ヲ）ウル
乍曾居
ワガコヒハ ヨルヒルワカズ モヽヘ（ナス）ナレコヽロシ（助）
吾戀者夜晝不別百重成情之念者甚（ナス）爲便無
イトヘ（ハ）トノキ（タトテト通）テ ウスキ（ニユヲ）ヲユキアヒテ（ヲ）
伊十（波）殿寸（乃）戸薄寸眉根乎徒令掻管不相人可
（天ノ誤ニヤ）

（古文紀上八千矛神歌サヨバイニアリカヨハセメチノラモ イマゾトカガテ）
（於悪四 人丸イノチアヲメヤ）

毋
コヒ〳〵テノチモ アハムトナグサムルコヽロ（助）ナクハ イキツクヒトニ（ジキナガス）シラレ（エ）ズ
戀〳〵而後裳將相常名草漏心四無者五十寸
テ アラメヤモ
手有目八面
イクバクモイケラジノチヲ（私）コヒツヽゾワレハ イキツクヒトニ シラレ（エ）ズ
幾不生有命乎戀管吾者氣衝人爾不所知
ヒトグニニ ヨバヒ（受訓）ニ ユキテタチノ（ガヘ）ヲモ（ヲ）（イマダトイハヌカモ）ヨ
他國爾結婚爾行而太刀之緒毛未解者左夜（延喜式九衛府舍人刀緒）

曾明家流
（ケトキ）ニスラヲノ サトキコヽロモ イマハ ナレヨ（上云ニ）ヤツコニ ワレハ シヌベシ
大夫之聡神毛今者無戀之奴爾吾者可死
ヲヲシ カク コフレバ クルシ（ニバラクモ）コヽロヤスメム コトハカリセヨ（計乎）
常如是戀者辛苦（ニバラクモ）心安目六事許爲與

凡爾吾之念者人妻爾有云妹爾戀管有米也
心者千重百重思有杼人目多見妹爾不相
可母
人目多見眼社忍禮。小毛心中爾吾念莫國
人見而事害目不爲夢爾吾今夜將至。屋戸閉
勿勤
何時左右二將生命曽。凡者戀作不有者死上
有

愛等念吾妹乎夢見而起而探爾無之不怜
妹登曰者無禮恐然爲饗懸巻欲言爾有鴨
寤香妹之來座有夢可毛吾香感流戀之繁爾
大方者何鴨將戀。言擧不爲妹爾依宿牟者
近侵
二爲而結之紐乎一爲而吾者解不見。直相及
者

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

凡爾吾之念者人妻爾有云妹爾戀管有米也
心者千重百重思有杼人目多見妹爾不相
可母
人目多見眼社忍禮。小毛心中爾吾念莫國
人見而事害目不爲夢爾吾今夜將至。屋戸閉
勿勤
何時左右二將生命曾。凡者戀作不有者死上
有

愛等念吾妹乎夢見而起而探爾無之不怜
妹登曰者無禮恐然爲髣髴戀巻欲言爾有鴨
玉勝間相登云者誰有香相有時左倍面隠爲
寤香妹之来座有夢可毛吾香感流戀之繁爾
大方者何鴨將戀。言舉不爲妹爾依宿牟者
近侵
二爲而結之紐乎一爲而吾者解不見。直相及
者

ヒモノヨ 但 諸抄

終命此者不念唯毛妹爾不相言乎之曽念
（ナムイノチコロハ オモハズタダニモ イモニ アハザルコトヲ シゾ キモフ）

幼婦者同情須史止時毛無久將見等曽念
（ヲトメコハ オナジコヽロニシバラクモヤム トキモナク ミナム トゾ キモフ）

夕去者於君將相跡念許憎日之晩毛悔有家
（ユフサレハ キミニ アハム トキモヘバコソ ヒノ クルラクモ ウレシ カラ リケレ）

禮

直今日毛君爾波相目跡人言乎繁不相雨窓
（タヾケフモ キミニハ アハメド ヒトゴトヲ シゲミ アハズテコヒ ワタルカモ）

度鴨
（ヨノナカニ コヒシゲケムト オモハヾ キミガ オモモ トムラム）

世間爾戀將繁跡不念者君之手本乎不枕夜
（今如此）

毛有寸
（アリキ）

ミドリコ 丸

緑兒之爲杜乳母者求云乳飲哉君之於毛求
（メノモリメノト ハ モトムテフチノムヤ キミガ オモ モトム）
（トイヘ）（乳オモ）

覽
（ラム）

社阿部本 和名 コノ時ノ名ト云ヘシ神代紀下妻ノオトフトヘ今ノ詞ニメイト

鰕和名集云石伐者欤之雜卵多鰕音段和名須毛理野王案云卵不鰕也

悔毛老爾來鴨我背子之求流乳母爾行益物
（クヤシクモ キヒニ ケル カモワガセコガ トムル メノト ニ ユカマシモノ）
（オモ）（チオモ）

乎

浦觸而可倒西袖叫又卷者過西戀也亂今可
（ウラフレテカ 中絶 レ ニシソデヲ マタマカバ スギニシ 動 コヒヤ ミダレコムカ）

將来ヘ音カ

聞
（キカム）

各寺師人死爲良思妹爾戀日異羸沼人丹不
（ノカミ 仲ニ思フトテ ヒトビニス ラシ レ イモニ コヒヒニケニヤセヌ ヒトニ シラ）

所知
（レズ）

春ハ梅秋ハマカキノ菊花各自恣ニ心ニ任セ 日本紀或ハ各自恣ニ雲杪ニウレシクモ有心ヘ

假名ニ初ラビル「メバフ」自然心ニテモアヘヘン自然日ハ「ハ」旨ナ六旨ハ「ハ」ノクラヽ便宜ニ出

女ノ寄ル心チモ有リ人ノ心カハリ外ヘカヨヒテナト來テ乳母ホルニオクルナル

菓子鳥ヲラ子ヲ子ニクスベシ ウツボ藤原君ニスモリヒトオモヒ物ヲ白ヒトリノヲヲシテナリニケリ

ヨヒ〳〵ニワガタチマツニ（ソコバクモキミニキマサズ（ケダシ）
タタ吾立待爾（キアス）君不來益者應辛苦
（イケルヨニ）（コヒドフモノヲ（モシ）アヒ）（ミヂ子）（バ）（コヒノウチニ）（モ）（ワレゾ）（クルシ）
生代爾戀云物乎相不見者戀中爾毛吾曾苦
（世ノ中ニト入テミルベシ）
キ

寸

（君ヤ来ルト——）キモヒツヽヲ（バ）（クルシモ）（ヌ）（バタマノ（千仲））
念管座者苦毛夜干玉之夜爾至者吾社湯龜
（コヽロニハモエテ）（キモヘド）（ウツ世ニノ）（ヒトメ）（ヲ）（レゴニイモニ）（アハヌカモ）
情庭燎而念杼虛蟬之人目乎繁妹爾不相鴨
（アヒキモハズキミ（君宿））（下セドモカタコヒニ）（ワレハゾ）（コラルギミガ）（スガタヲ）
不相念公者雖座肩戀君之光儀
（アイサハフ）（メニハ）（アケド）（モ）（タヅサハリトハレヌコトモ（ザ））（クルシ）（カリケリ）
味澤相目者非不飽摠不問事毛苦勞有來
（アフタマノ）（トモノヲ）（ナガク）（イツ）（ニデ）（カ）（ワガコヒヲラム）（イノチシラズテ）
璞之年緒永何時左右鹿我戀將居壽不知而

（ムシ及メ）（アチカサハ）（二本ヒイル）
（続後拾遺三ヨミ人不知）

（凡三首）

イニハワレハ（シナム）（ヨ）（ワガセ）（コヒスレバ）（ヒトヨ）（ヒトヒ）（モヤスケク）
今者吾者指南與我兄戀爲者一夜一日毛安
（モ）（ナシ）

毛無

（シロタヘノ）（ソデヲリカヘシ（サヤ）（ネ）（ヨ）バ）（カ）（イモガ）（スガタノ）（ユメニ）（シ助）
白細布之袖折反戀者香妹之容儀乃夢二四
（ミユル）

三湯流

（凡三首歌ノ様ニ身ニ毛生ニ髮モ乱レバ人ゴトノシゲキニ比ス義訓）
（ヒトゴトヲ）（シゲミ）（コヽ）（タ）（ミ）（ワガ）
人言乎繁三毛人髮三我兄子乎目者雖見相
（ヨシモ）（ナシ）

因毛無

（コヒトイヘバ）（ウスキコトアリシカドモワレハ）（スレズコヒハ）（シヌトモ）
戀云者薄事有雖然我者不忘戀者死十方
（ナカ〳〵ニ）（シナバ）（ヤスケム。イヅルヒノ）（イルワキシラズ）（ワレシ助ク）（ル）
中〳〵二死者安六出日之入別不知吾四久流
（出ル入別モシラズ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

四毛 モ

念八流跡 オモヒヤルナガレトドキ 共心カタキモ 狀毛我者 ワレハ イマハ 今者無妹二不相而年之 トシノ ヘニケバ ユケバカ ヤトカメモ

經行者 ワガセヲ

吾兄子爾戀跡二四有四。小兒之夜哭乎爲乍 ニコトニ アラシ。ミドリコ ノヨナキヲシツヽ イ子カナ スヘラク ハ 清少納言ニクシケル物 夜泣トゾモノ久ル兒ノ乳母

宿不勝苦者 ヤドカリノ ヤスクネ

我命之長欲家口。僞乎好爲人乎執許乎 ワカイノチノ ナガクホシケク。(度ニアシテ逢ヌル人ヘ イツハリヲヨクスルヒトヲ トラバカリヲ

人言繁跡妹不相情裏戀比日 ヒトゴトヲシゲシトイモニアハズシテコヽロノ子ニ

玉梓之君之使乎待乍名凝其今毛不宿 タマヅサノ キミガツカヒヲ マチシ(待ヨハリタル ヨノ ナゴリゾ イマモ イチヌ

夜乃大寸 ヨノ ヨホキ

玉桙之道爾行相而外目耳毛見者吉子乎何 タマボコノ ミチニ ユキアヒテ ヨソメニモ ミレバ ヨキコヲ イツ カ マタム

時鹿將待 キモヒニシアリニシカ バ スベヲ ナミ クレハ (書ヲ見ル人ヘ イヒテキ

念西餘西鹿齒爲便乎無荑吾者五十日手寸 イムベキモノヲ 妹カ心ニ

應忌鬼尾

或本歌曰門出而吾反側乎人見監可毛可 カドニイデヽ ワガコヒフスヲ ヒトミケルカモ 或本 一ニ云ク戸

云無之出行家當見 スベナミイデヽユキシイヘノアタリミニ 私ニ

柿本朝臣人麿歌集云爾保鳥之 ニホドリノ ナヅサヒ

奈津柴比 足ノ誤ナラン

住吉物語 君乃門今ノ多行出テ戀ス人ニ比咩乃

價 アタヒヨメカラテアクニヨル心ノ多ク詞

清ケ岡言市ハ辰ノ市椿市ハアマトトアマノ人ノ中ニ泊瀬寺ニ詣ル人ノ必ソコニトマリケルハ觀音ノ御緣アルニヤト心ユトシ

新古歌玉ヨミ合知

新古歌玉ヨミ人ヒケス

アヒ又由有ルニ

コレヲ ヒトミケンカモ
來乎入見鴨
アイムヒ ハソノカドユカム。 イデ、ミヨ
明日者其門將去。出而戀有容儀數知兼
ウタガヘル コロイブカニヨコトハカヨヒ
得田價異心欝悒事計吉爲吾兄子。相有時谷
ワギモ コガヨドデノ スガタ ミテシ ヨリコロソラナルツチハ
吾妹子之夜戶出乃光儀見之從情空成地者
フメドモ
雖踐
ツバ イチノ (ヤ) ソノチマタニ (紐ムスフトテ立トモ云序)
海石榴市之八十衢爾立平之結紐乎解巻惜
モ 大和泊瀬ノ近所武烈紀敏達紀推古紀履仲哀又景行紀
下廿九丁三此寺ノ殘リヲ
毛
ワカヨハヒシキトロヘニケバ モロタヘノ メデノ (穢ヒ) ナレニ助レ キミヲ
吾齡之衰去者白細布之袖乃乾爾思君乎 母
ノ新古

八行字ナモフ
雖
其念 新古ノ君ヲレヅト載ル
キミコトワガナクナニダシロタヘノソデサヘヒヌレ
戀君吾哭涕白妙袖兼所漬爲便母奈之
イニヨリハ アハジト スルヤシロタヘノ
從今者不相跡爲也白妙之我衣袖之干時毛
ナキ
奈吉
ユメカ トモオモヒカネヤツキヒ サニ (受訓ヘ) (宣本元)
夢可登。情迫月數多二干西君之事之通者
アラタマノ トシツキカチテ ヌバタマノ カレニ助レキミガ
荒玉乃夢爾所見君之容儀
イユメニゾミユル キミガスガタ
未玉之年月兼而烏玉乃夢爾所見君之容儀
ハ
者
イニヨリハ コフトモイモニ アハメム類ヤモ トコノベ サラズヤメニ ミエ
從今者雖戀妹爾將相哉母床邊不離夢所見

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

コソ
乞
ヒトノミ（夢ニ人ニ）テ コトトガメ 世ヌ ヨメニダニ
人見而言害目不爲夢谷不止見與我戀將息
（上ノ八葉ニ此句アリ） ヒトメ ヤホシミダニハ アハズ

或本歌頭云人目多直者不相

ウツセミハ マトハダエタル ヨメニダニツギテモ
現者言絶有夢谷嗣而所見而直相左右二
ウツセミノ ウツシゴコロモ ワレハナシ イモノアヒミズテ トレ
虛蟬之宇都思情毛吾者無妹乎不相見而年
ノヘ ユメバ（現ーさやに）
之經去者

ウツセミノ ツチノコトバト 支モヘドモツギテシ動キケバ
虛蟬之常辭登雖念繼而之聞者心遮焉
シロタヘノ ソデカヘズテチヌルヌバタマノ コヨヒハ アケバ
白細之袖不數而宿鳥玉之今夜者早毛明者

（ナガズ 不逢ナルヘシ 歎鳥雄本ノ） 慰カ
（メズテ 寐本ニ）

アケナム
將開
シロタヘノ タモトユタケク ヒトノヌル ウマイハ チズヤ コヒワタリ
白細之手本寬久人之宿味宿者不寢哉戀將渡
（ヨノフケ）

寄物陳思ヲ

カケクモ（カケバノミアリナル） キミヲ キヌヒ アラバ ヨニモ キム トワガ
如是耳在家流君乎衣雨有者下毛將著跡吾
オモヘリケル

念有家留
ツルバミノ アハセ（ニロモ六帖 男ノ衣ヲ女ハ裏ヘ） 世 バ ワレヒメ ヤ モ キミガ キ マサヌ
橡之袷衣裏爾爲者吾將強八方君之不來座
（カクアセテ裏ガリノ如クサメリ思ヘル君ナラハ強テ君ニアハント クレナヰノ アヌゾメゴロモ アサカニ アヒミ レ ヒトニ コフル コロ カモ
紅薄染衣淺爾相見之人爾戀比日可聞

（我ニノアサカリシ人ノ心ヲ反ミトバケヌ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

詩注泰凡小城之心曲同小雅小弁之不離于裏

苅薦江次才二退紅延喜式弾正忠紀淑望桃染布五十八端 天智紀衛門式衛士桃染布衫 左京式 衣服令

年之經者見管偲登妹之言思衣乃縫目見者
（トバヘレノ不逢メレ）（イヒレ）（キヌノ）（ヌヒメサシレハ）（コロモノ）（メイメ私）

哀裳
カナレモ

橡之一重衣裏毛無將有兒故戀渡可聞
ツルバミノ（ヒトヘ）（ゴロモノウラモ）（ナクアルラムコ）（ユヘコヒワタルカ）（モ）
トキギヌノ（オモヒミダレテ）（コフレドモナニノ）（ユヘソ）（トフヒトモ）（ナシ）

解衣之念亂而雖戀何之故其跡問人毛無
アラカヒノ（アラソノ）（アラメノ）（カナ）（長ノ）（アラ）（コロモノ）（カヒ）（ニ）（オモヒテ）（イモニ）（アハム）（モノカ）（モ）

桃花褐淺等乃衣淺爾念而妹爾將相物香裳
（ヒメ）（ウツ）（コロモナレハ）（ヒメ）（ドモイヤ）
キホヒキミノ（ニホヤクア）（ノ）（フチゴロモナ）

大王之塩燒海部乃藤衣間無比來戀者苦毛
（神武紀ニ供御ノ塩ハ敦賀ヨリ又仲哀紀ニ淡路ノ御井ニ塩ヲ置キ）（マ）（ニミン）

毛
アカギヌノ

赤帛之純衣長欲我念君之不所見比者鴨
（才三皆純ヲヒトシ点セリ）（ウラコロモナガクホリワガ）（モフキミカ）（ミエヌコロカモ）
スミゾメノ（ウラコロモナガ）

（逢又故）
紫帶之結毛解毛不見本名也妹爾戀度南
ムラサキノキビノ（ムスビツルワガ）（トクモ）（ミ）（ズ）（モトナヤ）（イモニ）（コヒワタリナム）
コ（ニ流）（ニレキヒモノ）（トキ）（ムスビモ）（ヒテ）（レルナキカ）

高麗錦紐之結毛解不放齊而待杼驗無可聞
ムラサキノワガヒモノイロニイデズ（コヒ嬬モ）（ヤセム）（アフヨシヲ）

紫我下紐乃色爾不出戀可毛將痩相因乎無
（入紐ノ）（ヒモノヲ）（ナニユヘカ）（オモハズアラム）

見
ナニユヘカ（オモハズアラム）

何故可不思將有紐緒之心爾入而戀布物乎
（ソカニニ）（ニセワガセコワガカタミ）（鏡）（モタラムトキニ）（アハズアラメ）

真十鏡見座吾背子吾形見將持辰爾將不相
（ハサラム）

眞玉就越乞兼而結鶴言下紐之所解日有米
タマツクノ（チコチカ子テ）（ムスビツルワガ）（トクルヒアラメ）
（アチコチ）

也
ムラサキノキビノ（逢又故）（ムスビツルワガ）（トクモミ）（ズモトナヤ）（イモニ）（コヒワタリナム）
（ニ流）（ニレキヒモノ）（トキ）（ムスビモ）（ヒテ）（レルナキカ）（モ）

紫帶之結毛解毛不見本名也妹爾戀度南

高麗錦紐之結毛解不放齊而待杼驗無可聞
ムラサキノワガヒモノイロニイデズ（コヒ嬬モ）（ヤセム）（アフヨシヲ）

紫我下紐乃色爾不出戀可毛將痩相因乎無

見
ナニユヘカ（オモハズアラム）

何故可不思將有紐緒之心爾入而戀布物乎
（ソカニニ）（ニセワガセコワガカタミ）（鏡）（モタラムトキニ）（アハズアラメ）

真十鏡見座吾背子吾形見將持辰爾將不相
（ハサラム）

高橋蟲麻呂

序シ

哉 乎宜本 マソカミタバメニキミヲ ミテバユ
真十鏡直目爾君乎見者許増命對吾戀止目
マソカミミ アカヌイモニアハズシテ ツキノヘユケバイケルトモ
大馬鏡見不飽妹爾不相而月之經去者生友
ナシ
名師
ハフリラガイハフミ 齋宜本 ムロノマ 御榊 カミカケテツルギフタフヒトゴトニ
祝部等之齊三諸乃大馬鏡懸而偲相人毎
ハリハアレドイモシ助ナケレバツケメヤト ワレシナヤシタメユルヒモ
針者有籾妹之無者將著哉跡吾乎令須絶紐
ノヲ 緒宜本
之結 已ガ心ヲ〻太刀ニ〻ヲリ
コマツルギガ コカ ユルヒモノミニ
高麗劍紀之景迹故外耳見乍哉君乎戀渡奈

六帖五弓人丸 カクコム物トシリセ 梓弓未ノ中ニロアヒミテマシヲ

以上二首寄劍

寄針

姫川百首 榊葉ヲ神ニミムロトアラムレハ

ユミロセ 諸本後紀 景迹ヲ天訓化 ケウヲ原紀 遥叙令家解 考課令文解

牟 全義解ヲ六曹繕式曰凡當造軍器皆須依樣令鑄題年月及工匠姓名 謂模者形製法式也鑄者 若有「不」可鑄題者謂弓弩不「用」此令 一擊也題者音昏
ツルギ タチナノヲヨクモワレハ
劍太刀名之惜毛吾者無比來之間戀之繁爾
アヅサユミスエハ キミニ ヨリニ助シモノヲ
梓弓末者師不知。雖然眞坂者君爾緣西物乎
アヅサユミスエノタツ 今シ當時 キミニ ヨリニ助シ
一本歌云梓弓末乃多頭吉波雖不知心者
君爾因之物乎
アヅサユミヒキミ ユルベスラヲヤ コヒヲヤムル
梓弓引見縱見思見而飽心齒因爾思物乎
アヅサユミヒキテ ユルベカヲテハ
梓弓引而不縱大夫哉戀云物乎忍不得牟
アヅサユミスエナカ タメ ロ秋 テ ナカサリシ タユタメリシ
梓弓末中一伏三起不通有之君者會奴嘆羽
ナカサリシ ヒロ反 ヒロ反

寄麻陳思

拾遺四　人丸　寄衣ノ

寄手綱

將息　ヤメム
イマサラニナニシカ　オモハム。アサユミヒキミ　ユルヘミ　ヨリニシモノシ
今更何牡鹿將念梓弓引見縱見緣西鬼乎
ヲトメラカ　ウミヲノタ、リウチソ　カケウムトキナシニ　ユヒ
嬬嬬等之續麻之　多田有打麻懸續時無二戀
ワタルカモ　（繰手）　（系ラク具ノ源氏絵角ニ結ヒ文メリノ篇ノ妻ヨリ几帳ノ縦ニスキテミヘケハ　ニカレキオホツカナキオホシキト皆同ヲ）
度鴨
タラチ子ノ　（妹ノ母）　ハヽガ　カフコノ　ユコモリイ　ブセク
垂乳根之母我養蚕乃眉隱馬聲蜂音石花蛸
モアルカイモニアハズテ
蜘荒鹿異母二不相而
タヽダスキカケ子　バ　クルシ。カケタレバ　ツキテミ　ヘクノホシキ
玉手次不懸者辛苦。懸垂者續手見巻之欲寸
キミカモ
君可毛

寄木綿、

凡恵九　二首寄髪ヌ

寄蔦

寄舟

絲　日本紀ニミノイロ

絲色ヲヂ　ミキ

ムラサキノ　ネノ　カツラノハナヤ　カニ　ケフ　ミルヒトニ　ノチコヒムカモ
紫絲色之蘰花八香爾今日見人爾後將戀鴨
タヽカツラカケヌ　トキナクコフレドモナニゾモイモニ　アフトキモナキ
安康紀雄畧紀
玉鬘不懸時無戀友何如妹爾相時毛名寸
アフヨシノイデクルマヽミコモカヘテ　アムカスユメニシミエム
相因之出来左右者疊薦重編數夢西將見
シラカツク　ユフハナカモ。コトコソハ　イツノサチモ　ツチ
白香付木綿者花物。事社者何時之眞枝毛常
ワスラエヌ子　（香脱ヵ）　（言ノ花コソハ）　（末トモ云ヘシ）　（イツノサカモトマサカハサシアハリテノ心）
不所忘
ヨソノカミフルノ　タカハニタカク　ニ　イモガ　ヤツラムヨ　ゾフケニケル
（上木ノ心又ハ上ハカトスヘシ心）
上根之高橋高爾妹之將待夜曾深去家
（紫神紀　神名帳　武烈紀ニモマノフタカハシアリ）
留
ミナトイリノ　アシワケヲブネサハリキミイマクルワレヲ　ユヒ　トモラナ
湊入之葦別小船障多今來吾乎不通跡念莫
（タメユヒヨトムス）
コヒ

或本謌曰湊入爾蘆別小舩障多君爾不相
（テトイリニ　アシワケヲヲブネサハリオホミキミニ　アハズ）
而年曽經來
（テトレヅ　ヘニケル）
幕
水乎多上爾種蒔比要乎
（ミツヲ　キホミアゲニ　タヲニキヒエヲ　神代紀ニ高田ノ水ヲ多ニ作ル）
多擇擢之業曽吾獨
（タヘリ　ユカソ　ワカヒトリ　玉篇ニ擢ハ卓ノ反抜ク）
宿
（タニアラメ念ノ誤カ）
ハ　アヒヌルモノヲ、ヤマダ
靈合者相宿物乎小山田之
（アヒ田ノ事ヲ下ニモルオホセ六母ノ娘ヲ孚ルヲ云）
（モラズ　ヒト井ノ心）
守為裳
（ハ、ガ　モラシ）
鹿猪田禁如母之
（シヽダ　モルゴトハ、シ　シヽハ獣ノ名ニ非ス日本紀ニ井ヲ以テ猪ニ充ル例アリ）
一云母之守之師、
（カスガノニ　テレル　ユフヒノカゲ　ヨソノミニノミキミヲ　アヒミテイマゾ）
春日野爾照有暮日之外耳君乎相見而今曽

悔寸
（クヤシキ）
（アトビ　キノヤヨリイツル　ツキミツト　ヒトニハイヒテイモニツ）
日木乃從山出流月待登人爾波言而妹待
（ワレヲ）
吾乎
（コフツクヨ　アカツキヤミノ）
夕月夜五更闇之不明見之人故戀渡鴨
（ホノカニモミ　オホヽシクノ　ヒトユヘニコヒワタルカモ）
久堅之天水虚爾照日之將失日社吾戀止目
（ヒサカタノ　アマツミソラニ　テル日ノウセナム日　コソワカコヒヤマメ）
（モチノ　ヒニイテニシ　ツキノ　タガ〳〵ニ　キミヲ　イカニセテ　ナニヲカ）
十五日出之月乃高高爾君乎座而何物乎加
（モハム）
將念
（ツキヨ　ヨミカトニ　イテタチアフラシ　神代紀初剋遺足時則為足占）
月夜好門爾出立足占為而往時禁八妹二不
（テ　ユクトキサヘヤ　イモニ　アハ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

寄山

サラム　擣布帆言足根　ユキカスキカマホシキハイカカタミフミ定ムラシアシウラノ山毋後

相有　ヌハ　タニノヨ　ワタルツキノ　サヤケクハ　ヨクミテマシヲ。キミカ　スカタ

野干玉夜渡月之清者吉見而申尾君之光儀

ヌバタマノヨ

乎　アシヒキノ、ヤマヨ　コ　タカミ　ユフツキヨ　イツカトキミヲ　マツガ　タルシ

足引之山呼木高三暮月乎何時君乎待之苦

サ　山木アルバ云〳〵木ツタフモ風シ竹ミ木ツタフト今ヨムハ如何

沙　ヰヌヌスウツ〳〵ミチルヘク

ジルバミノ　キヌトキアラヒニ　ツチヤニヒリヒトニ　ハ　ナホシカズケリ　フルキ

橡之衣解洗又打山古人爾者猶不如家利

サホ　カハノ　カハナミタヽズ　タヅヒテ　アス　サヘモガ

佐保河之河浪不立靜雲君二副而明日兼欲

モ　川宜　川足（言ノヒケカ又）

得

ワキモコニ　コロモカス春助ノ　ヨシキカハヨシモ　アラヌカイモカメ

吾妹兒爾衣借香之宜寸河因毛有額妹之目

ヲミム　大和ミヤ　川宜　川宜

乎將見

タヲクモリ〳〵雨ニ濕ト昏テタナヒク〳〵タナビキクモルニ薄陰リ〳〵

トノ　アメフルカハノサヾレナミヘ　ナクモ　キミハ　オモ

登能雲入雨零河之左射禮浪間無毛君者所

ホニルカモ　大和ミヤ　川宜

念鴨

ワキモコヤ　吾ヲ　アヲウト通ラス　ナ。イソノカミソテフルカハノ　タエム　ト

吾妹兒哉安乎忘爲莫石上袖振河之將絶跡

オモヘヤ兒仲

念倍也　タヘヒト〳〵

カミナビノゴトキコユルタキノ　シラナミノ　オモシロケレハ　ヤマシタト　ヨミユクミツノ　ミナ

神山之山下響逝水之水尾不絶者後毛吾妻

鳴神ノ如ク　シロト通ス

如神所聞瀧之白浪乃面知君之不所見比日

景行紀　神山

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

山河之瀧爾益流戀爲登曾人知爾來無間念
（アハヒテ名ノ立也）
者　アシヒキノ　ヤマガハミヅノ　キトニイデズ　ヒトノコ　ココロニワタルカ

足檜木之山河水之音不出人之子始戀渡青
（人故乎）　モ　鴨ヘ

頁鷄
（後ノ心モ言ヤムヘシ）
高湍爾有能登瀬乃河之後將合妹者吾者今
（チトト過ス故ノトセハノチニトソ）
爾不有十方　アラズトモ　大和高市郡

浣衣取替河之河余将能不逼牟心思兼都毋
（我コヒシクモ　キミヲ）
班鳩之因可乃池之宿毛君乎不言者念衣吾
（大和ノ雲ノ津田トアリ行ムモ名ニカナフベシ）

（ホリエ難波堀江ノ奥ヲ指ニミクホリエヲ別名所トス誤也）

和名大和トリカヒ川　ハカヒノ山

辛水　イカルカハ交ヲリカツマルヲ云ツヾク

爲流　水ナキ池ヲモ云ヘシ
（隠）　コモリヌ　ノ　シタニ　ハ　コヒム。イチジロク　ヒトノ　シルベクナケキ也　メ

絶沼之下從者將戀。市白久人之可知數爲来
（美宜）　ヤ　モ

也母　ユクヘ　ナミ　コモレル　イケノ　シタ　モヒニ　ワレゾ　モノモフコノゴロ

去方無三隱有小沼乃下思爾吾曽物念頃者
（ヌ）　（ヌ）　ノ　シハ

之間　コモリヌ　ノ　シタエ　コヒアリシラナミノ　イチジロクイデヌヒトノ　シルベク

隱沼乃下從戀餘白浪之灼然出人之可知
イモガメ　タ　ミ　マクホリエ　ノ　サヾラナミシキテ　コヒツヽアリト　ツゲコソ

妹目乎見巻欲江之小浪數而戀乍有跡告乞
イモニハシラレタル　ミ　ノ　ハ　ミキヤ　シレ　キミニ　コフラク　ワカコヽロ

石走垂水之水能早敷八師君爾戀良久吾情
（津国）　（水ノ早トツヾク心）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

カラ
柄　キミハ　コズ。ワレハ（女ニハ行ベキ言ナキヲコヘナミタツナミノ）君者不來吾者故無立浪之數和備思妬此而
コジトヤ　オモウ　カク　テ
不來跡也
アフミノウミヘタハヒトシルオキツナミキミヲ（安置也）キキテハシルヒトモ
淡海之海邊多波人知。奥浪君乎置者知人毛
貫之集後撰ニ
無
オホウミノソコヨリフカメテムスビテシイモガコヽロハウタガヒモナシ（此字如何）
大海之底乎深目而結義之妹心者疑毛無
サダメシニ　ヨスルシラナミニアヒ結ナリキモラヌヲ（義或）
貞能納爾依流白浪無間思乎如何妹爾難相
キモヒデ　ヨセ　ベ　ナキトキハ　アヘグモノ　オクカモシラズ　コヒソ、
念出而爲便無時者天雲之奥香裳不知戀乍
行衛モシラズトスル心

ソヲル
曾居
アヘクモノタユタヒヤスキコヽロアラバ、ワレヲタノムナ。（令タノミオキテモ不来ジー）
天雲乃絶多比安心有者吾乎莫憑待者苦毛
キミカアタリニツヽモ（ヲ俗物）フラム。イコヽヤマクモナクカクシソアメハフルトモ
君之當見乍母將居。伊駒山雲莫蒙雨者雖零
ナカナカニナニヽシリケム。ワカヤマニモユルケブリノヨソニミシヤ
中中二如何知兼。吾山爾燒流火氣能外見申
（香乎ニヲクベキヤ）ヲ
尾
ワギモコニコヒスベナミカリムスヒヤキアサド（アシ）アレバミユル
吾妹兒爾戀爲便名爲胷乎熱且戸開者所見
キリカモ
霧可聞
アカツキノアサギリゴモリカヘルサ（カク類）ニイカテカコヒノイロニイデニケル
曉之朝霧隱反羽二如何戀乃色丹出爾家留
（半）（ム）

キモヒイヅルトキハ　スベナミサホヤマニ　タツアヘギリノ　ケヌベクオモ
ホユ
思出時者爲便無佐保山爾立雨霧乃應消所
念

八雲ニ紀伊トアリ熊野ニキリ目ノ王子アルベシ故紀伊トセサセ玉フヂ
キリメヤマユキカフミチノ　アサガスミホノカニダニヤ　イモニアハガラム
ヲ
霧目山往反道之朝霞髣髴谷八妹爾不相乎
カク　コヒムモノト　シリセバ　ユメヒギキテ　アレタハ　キユル　ツユナラマシ
如此將戀物等知者夕置而且者消流露有申
尾
ユフベキキテ　アレタハ　キユル　シラツユノ　ケヌベキコヒモ　ワレハスルカモ
暮置而旦者消流白露之可消戀毛吾者爲鴨
ノチツヰニ　イモニアハム　ト　アサツユノ　イノチハ　イケリ。コヒハ　シゲレド
後遂爾妹將相跡且露之命者生有。戀者雖繁
アサナサナクサノウヘシロクオクツユノ　キエバ　ケナ　上モニト　イヒシ　キミハ　モゲント阿
朝旦草上白置露乃消者共跡云師君者毛

新続古恋五　ヨミ人不知　此歌ニノロク

寄雨戀　雲ノ義ヨリ散木集ニイタメル山ヨメカ

以下露　後撰恋一　ヨミ人ニミエカクニアルアクレハキエル

第十二出以下霜

アサヒサスカノヲノニ　オクツユノ　ケヌベキワカミ　ヲレケクモ
朝日指春日能小野爾置露乃可消吾身惜雲
ナシ
無
ツユシモノ　ケヤスキワガミ　オヒヌトモ　タワカ、ヘリキミヲ　シ助ニタム
露霜乃消安我身雖老又君乎思將待
キミニマツト　ニハキヨヲレバ　タチナビキワカクロカミニ　シモゾ　キキニケ
待君常庭耳居者打靡吾黒髪爾霜曾置爾家
ル　ノミ阿
類
シロタヘノ　ワガコロモデ　ニ　ツユゾ　オキニ
ケル
或本歌尾句云白細之吾衣手爾露曾置爾
家留
アサゴモノ　ケヌベクノミヤ　トキナシニ　キモヒワタラム　イキノヲニシ
朝霜乃可消耳也時無二思將度氣之緒爾爲

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

テ而
サザ十三ノ十三コスアサニフルコ　サメアヒダモ　キキテ　ワガ㊀モハ
ナクニ
念國
カ亞サビ　テイハホニ　オフル(ミツガ子)ノ　キミガコヽロハ(色カヘラメヤ)　ワスレカ子ツモ
社左備而巖爾生松根之君心者忘不得毛
三カリスルカリバノヲノ　ナレハ　(ミサラデコヒ)
社益　(コソミサヒル新ラ)
櫻柴之奈禮波不益戀
(オ十サクラアサノ)　(オ十ブノ)　シタクサハヤクオキバ　イモガ　シタヒモトケザラ
櫻麻之麻原乃下草早生者妹之下紐不解有
(十ノ五十四)　(久又通ス)
申尾　(思州ノ類恋草)　(諸共ニムスビレマニテ)

カズカノニアサギシメユヒタエメヤト　ワカ㊀モフヒトハイヤトホ
春日野爾淺茅標結斷米也登吾念人者彌遠
ナカニ　(オ七三女ノ兒ハセヲ庚第二ニ次ス)
長爾
アシビキノヤマスガノ子ノ子モゴロニワレハゾコフル。キミガスガタヲ
足檜之山菅根乃懃吾波曾戀流。君之光儀乎
或本歌曰吾念人乎將見因毛我母　(ワガキモフヒトヲミムヨシモガモ)
垣津旗開澤生菅根之絶跡也君之不所見頃
カキツバタサハニオフルスガノ子ノタユトヤキミガミエヌコノ
(カキツバタ(所名)ヲハ萱多ノ生ルハイメミテ花カルヽコロ)
者
アシビキノヤマスガノ子ノ子モゴロニヤスギモハヾイモニアハムカ
足檜木之山菅根之懃不止念者於妹將相可

新千應一三余知アム日マテニ

アヒオモハズアルモノヲ カモスガノ手ノ
相不念有物乎 鴨菅根乃
ヤマスゲノ ヤマズ テキミヲ キモヘカ モ ワガタマシヒノ コノゴロハ ナ
山菅之 不止而公乎 念可母 吾心神之
キ
寸
イモガヘドニキスギガテニ 猿丸集 枝折 ヤメテ後ニミテ妹ガ其心ヲシルコトアラン
妹門 去過不得而 草結風
クサムスブカセフキトクナ。マタカリニム
吹解勿。又將顧
メグミアフマデニ
一云直相麻臣爾
アサチハラチブニアシフミコハロク クルシミ
淺茅原 菜生丹足 蹈意異
アサヂフノ チブ重羽ヨモギフナドモ本ノ蓬原
ワガモノコラガイヘノアタリ
吾念兒等之家當
見津
イモガイヘノアタリミツ
一云妹之家當見津

ウチビサス三ヤニハアレド ツキクサノ
内日刺 宮庭 有跡 鴨頭草乃
美人 ウツレコヽロハワカモハナクニ
移情 吾思名國
百爾千爾人者雖言 月草之
ワスレクサワカヒモニツケトモトキトナクキモヒダタレハ イケルトモナシ
移情 吾將持 八方
アカツキノメサマシグサトコレヲダニ
萱草吾紐爾著 時常無念
ミツヽイマシテワレニトシレバ
王更之 目不醉草 跡此乎
(何ニモ目ニミテナグサム物ゾ)
谷見乍座而 吾止偲
忘草ヲ見テモ忘レヌ君ヲ心ニ先ヲ置テイハリ
爲
ワスレクサカギモ
萱草垣毛 繁森雖殖 有鬼之
シミヽニウエタレト オニノシコ
志許草猶戀爾家
シコクサナホコヒニケリ
利
アサチフノヲノニシメユフメラゴトモ アハムト キカセ。コヒノ
淺茅原小野爾標結 空言毛 將相跡令聞。戀之

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

十ノ廿二

名種爾

或本歌曰將來知志君矣志將待又見柿本
朝臣人麿歌集出（コムト　キミヲシ　マタム　ヒトトキオノ）

朝臣人麿歌集（ニ）出（ヅ）

人之笠爾縫云有間菅在而後爾毛相等曽
念（ヒトノ　カサニ　ヌフテフアリマ　スゲアリテノチニ　モ　アハムトゾ　オモヒ）

三吉野之蜻乃小野爾刈草之念亂而宿夜四
（ミヨシノノ、アキツノヲノニ　カルカヤノ　キモヒミダレテ　ヌルヨシ）

曾多（オホキソ）　カゼフクノ小野トヨメルモカタチノ小野トヨメルモ誤ヘ　新猿も秋上に同歌ニナトモカタチノ小野ハ大神宮祢宜春令タリヒキ又堀川百首後歌ニミヨシノカタチノ野ヘ女郎花心トシメス人ハアラシナ判者云カタチノ野ヘ何ニ侍ル処ニヤアラン女郎花植ニテハアラマホシキ処ニテハ侍レ共タヨメル哥モキキ侍ラズ

多

妹待跡三笠乃山之不止入將隠命不
（イモマツト　カサノヤマノヤマズユケムヲイノチシラナ）

ベハ

死者

谷迫峯邊延有玉葛令蔓之有者年二不來友
（タニセバミネヘニハヘル　タマカヅラハヘテ　（我ヲ思フ心）　イハツタノハヘテシ　アラバ　トシニ　コズトモ）

一云石葛令蔓之有者年二不來友

水莖之岡乃田葛葉緒吹變面知兒等之不見
（ミヅグキノ　筑前下座郡　オカノクズハ　ヲカゼフキカヘシ　オモヒルコ　ラカ　ミエヌ）

比鴨　（コロカモ　清少納言草ハ葛ノ風ニ吹カサテ裏イト白クミユルオカシ）

赤駒之射去羽許眞田葛原何傳言。直將吉
（アカゴマノ　イ助　ユキハバカリ　禅ハバカリ　クズハラ　フキカヘシ　オモヒルコト　ダニニ助　ヨケム　ヅタハバ　ヨケ）

木綿疊田上山之狹名葛在去之毛不今有十
（ユフダヽミタナカミヤマノ　サナカヅラ　アリサリテ助　モ　アラメズト　アルモイニシ　モ）

方
（トヒコヨカレシ）

天智紀童謡ニ狹井本紀ニモ未詳ト注セリ　ツヽコト流言　飛聞　共雅君紀

新古今ニハツタイハ絡石ヘ俗ニ定家カツラ

新古今ヨミ人シラズ　是ノコノハタ　タカハ君ヲ恋ント思ヒシ全葉恋下ミヤヽヘ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

出雲国風土記云嶋根郡大野濱廣一里一百八十歩西北有百大山祇社

新勅撰四 ユフメシテ サチカツラ

丹波道之大江乃山之真玉葛絶牟乃心我不
タニハチノオホエノヤマノサナカツラタエムノコヽロワレハオモハス
桑田郡大枝也
思
ナクニ紀伊ナルヘシオホサキノアリソノワタリハフクズノ大埼之有磯乃渡延久受乃往方無哉戀渡南
オホサキノアリソノワタリハフクズノユクヘモナクヤコヒワタリナム
フタミノ心未
ヲ云木綿畳一重
ヲトメノ心未ヲ云ニ
タヽミ
白月山之佐奈葛後毛必將相等
サナカツラノチモカナラズアハムト
近江トイヘリ未考
田ナルヘシ上ニ
曽念
オモフソ
或本謌曰將絶跡妹乎吾念莫久爾
タエムトイモヲワカモハナクニ
ハ子ズ イロノ
唐棣花色之移安情有者年乎曽寸經事者不
ウツロヒヤスキコヽロアレバトシヲソヽフルコトハタエズテ
絶而
カクシテ ヒトノ シヌヘクプラブナミノタバヒトメノニ三シ
如此爲而曽人之死云藤浪乃直一目耳見之
ヒトユヘニ 二十云ノ上ニ
人故爾
スミノエノシキツノウラノナノリソガナハノリテシヲ
住吉之敷津之浦乃名告藻之名者告而之乎
アハヌモアヤシ
不相毛悪
ミエナハツ久神
三佐吳集荒礒爾生流勿謂藻乃吉名者渚不告
ミヨサヒアリソニオフルナノリソノヨシナハノラセ
告世ン中吉昼ヤマリ
ノリナハ
父母者知鞆
オヤハシレトモ
浪之共靡玉藻乃片念爾吾念人之言乃繁家
ナミノムタナヒクタマモノカタモヒニワカモラヒトノコトノシゲケク
口

凡恋五

以下緒

海若之奥津玉藻之靡将寝早来座君。待者苦
ワタツミノ オキツ タマモ ノ ナビキ ネム ハヤキ コセキミ マテバ クルシ
毛
モ

以下同

毛
モ

死
シヌ

王緒乎片緒爾搓而緒乎弱彌亂時爾不戀有
タマノヲ カタヲ ニ ヨリ テ ヲ ヨハミ ミダル トキニ コヒザラ ム
目八方
メヤモ

君爾不相久成宿。玉緒之長命之惜雲無
キミニ アハズ ヒサシクナリヌ。タマノヲノ ナガキイノチノ ヲシクモナシ

コラルコトヲサレバイハ

戀事益今者玉緒之絶而亂而可死所念
コヒノマスケニ イマハ タマノヲノ タエテ ミダレテ シヌベクオモホユ

土佐日記 忘貝ヒロヒシモセジ白玉ヲ恋ルヲタニテカタミト思ハン 船人

以下貝

以下虫

以下鳥

和名抄信濃国筑摩郡宗賀加
八雲立出雲八重垣 スガノ
マスケヨキ 子鳥二万

檜

海處女潜取云忘貝代二毛不忘妹之光儀者
アマヲトメ カヅキトルテフワスレガヒヨ ニモ ワスレジイモガ スガタハ
伊勢物語ニハカリ

中二人跡不在者桑子爾毛成益物乎玉之
ナカニ ヒト ハアラズ クハコ ニモ ナラマシモノヲ タマノ
(桑子ニナリテアタコモリシタキトミモトハ蓋籠ノソレヲニコモリニトリノセリ)

朝影爾吾身者成奴玉蜻髣髴所見而往之兒
アサカゲニ ワガミ ハ ナリヌ。カゲロフノホノカニ ミエテ イニシコ

故爾
ユヘニ

ナカくニ ヒト ハアラズ クハコ ニモ ナラマシモノヲ タマノ

中二人跡不在者桑子爾毛成益物乎玉之
伊勢物語ニハカリ

朝影爾吾身者成奴玉蜻髣髴所見而往之兒
アサカゲニ ワガミ ハ ナリヌ。カゲロフノホノカニ ミエテ イニシコ

故爾
ユヘニ

緒許
スガヨキソ

眞菅吉宗我乃河原爾鳴千鳥間無吾背子。吾
マスゲヨキ カノ カハラ ニ ナク チドリ マナシ ワガセコ。ワガ

戀者
コフルヒ

戀衣著猶乃山爾鳴鳥之間無時無。吾戀良苦
コロモキナラノ ヤマ ニ ナク トリノ マナシ トキナシ。ワガコフラク

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

新勅恋二ヨミ人不知

ハ者　トホツ　ヒトカリチノ　イケニ　スムトリノ　タチテモ　井テモ　キミヲ　シ助
遠津人猟道之池爾住鳥之立毛居毛君乎之
ゾ　キモフ　古集　大和ナミ之ハ加賀トホツ人カリケノ池ノアメ州中ニ久エ子コムモタマレ若菜下イシアフノミシ人猶未摘花　琴ラシナカレキカタラヒ人トレエフ
念　ユクカモノ　ハ　オトノ　キトニノミキ、ツ、モトナ　コヒワタルカモ
曾念　アレヘ　清少納言　ヲスモナイホサシ人メカス
葦邊往鴨之羽音之聲耳聞管本名戀渡鴨
カモスラモ　オノガ　ツマドチアサリ　シ　テ　オクル、ホドニ　コヒフルモノ
鴨尚毛已之妻共求食爲而所遺間爾戀云物
ヲ
乎
シラニシヒ　タヒノ　ホソエ　ノ　スカトリノ　イモニ　コレヤ　イノチ子　カ子
白檀斐太乃細江之菅鳥乃妹爾戀哉寢宿金
ツル　鶴　引心八雲ニ飛渾ノヨシ如何　不詳　洲鳥又菅鳥而続　未勘

小竹之上爾來居而鳴鳥目乎安見人妻跡爾
リ　ルニヒトノ　ヲヤスミ　ヒトツマユエニ　人目スクナキ　故乎
吾戀二來
モノ　モラト　イチジル　オキタルアサケニハ
物念常不宿起有且開者和備氐鳴成。鷄左倍
アサカラスハヤクナ　ナキソワガセ　コガ　アサケノ　スガタ　ミレバ　カナシモ
朝烏早勿鳴。吾背子之旦開之容儀見者悲毛
ニ　垣越　オ考コシニ　ムキハムコマノ　ノミ　ムレドナホモコヒシク　キモヒカテヌヲ
柜梼越爾麥咋駒乃雖繋猶戀夕思不勝烏
サ　ヒノクニ　ニノクマカハニ　ウマトメテウマ　ミツカヘ　ワレヨリニ　ミム　古事記其日子遲神和備ヒ
大檜隈檜隈河爾駐馬馬爾水令飲吾外將見
キノレ　ユハノラロ　テヲレバ　アヲウマノ　オモダカフ　クダ　ニ　ノリ　ウビテ　ナクナリ。カクトリサヘ　和名青白雜色馬也
於能禮故所詈而居者驗馬之面高夫駄爾乘
テ　吾故シ　クベシレ　ヤ　悪馬ノ相シ　夫ナドノ荷ヲ引馬シ　久乎

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

天武紀　元正紀可考

寄卅　紫卅　才一　天部御　誤字モレヨムベキ筋　アラベ此点可然

寄社　斉明紀云

右一首平羣文屋朝臣益人傳云昔聞紀皇
（ヘグリフミヤノ）（ムラジマヒトヽ）（キノオホキサキ）（ヒ）（ヒ）
女窮嫁高安王被責之時御作此歌但高安
（メ）（ニ）（ノ）（タカヤスノ）（オホキミ）（カウ）（ニ）（セメラル）（ノ）（トキ）（ニ）（ツクリ）（マス）（コノウタヲ）（タヾ）（タカヤス）
王左降任之伊與國守也
（オホキミ）（サカウ）（ニ）（マケナリ）（ノ）（イヨノクニノカミ）（ナリ）
同
（アヅサユミ）（マユミ）（ハリキ）（ヨ）（ワ）（ク）（フスミカノ）
紫草乎草跡別別伏鹿之野者殊異爲而心者
（ムラサキヲ）（クサト）（ワキ）（ワキ）（キナシ）
將御知
（ムカム）
（養老三年ノ比）（三之日碁ヘ処ニヨリ鷹共ニ養作高市郡雲梯）（我ヲコト人ノ如クル）
同
（オモハヌヲ）（ニ）（トリスムウナ）（オモフ）（イハヾ）（ニ）
不想乎想常云者真鳥住卯名手乃杜之神思
（デノ）（モリノ）（カミシ）（助）
（美作人ノ寄ナルヘシ）
將御知
（ムカム）
問答歌

紫者灰指物曽海石榴市之八十街爾相兒哉
（ムラサキハ）（ハヒサスモノゾ）（ツバイチノ）（アフチノ）（ヤソノチマタニ）（アヘルコヤ）
誰
（タレ）
（巻在イカニテ灰アカタキ紫ヲ忘ニカ思ヒアメテ）
足千根乃母之呼名乎雖白路行人乎孰跡知
（タラチネノ）（ハヽノ）（メスト）（ヨ）（ニ）（ウサメビニチユキビトヲ）（タレト）（シリ）
而可
（テカ）
（神武紀下天孫兒名ヲトハセヨ又古事記垂仁紀凡子ノ名ハ母名ヲツ）

右二首

（アハナクハシカモアリナムト）（モ）（タ）（ニ）（ツサノ）（ツカヒヲ）
不相然將有玉梓之使乎
（ダニモ）（ニチヤ）（カ子テム）
谷毛待八金手六
（アハムトハ）（チ）（ニオモヘドアリガヨフヒトメ）（ヲ）（オホニコヒツヽゾヲル）
將相者千遍雖念蟻通人眼乎多癈作衣居

右二首

人目多直不相而蓋雲吾戀死者誰名將有裳
（ヒトメ　オホミタダニアハズテ　ケダシクモワガコヒシナバ　タガナカアラム　モ）
相見欲爲者從君毛吾曾益而伊布可思美爲
（アヒミムト　ホシケレバ　キミニヨリモ　ワレゾマサリテ　イフカシミス）
也
（ル）

右二首

空蟬之人目乎繁不相而年之經者生跡毛奈
（ウツセミノ　ヒトメヲシゲミアハズシテ　トシノヘヌレバ　イケリトモナ）
思
（ウツセミノ）
空蟬之人目繁者夜干玉之夜夢乎次而所見
（ヒトメシゲクハ　ヌバタマノ　ヨルノユメニヲ　ツギテミエ）
欲
（ホシ）

右二首

慇懃憶吾妹乎人言之繁爾因而不通比日可
（ネモコロニ　オモフワギモヲ　ヒトゴトノ　シゲキニヨリテ　アハヌコロカ）
聞
（モ）
人言之繁思有者君毛吾毛將絶常云而相之
（ヒトゴトノ　シゲクオモヘレバ　キミモワレモ　タエムトイヒテ　アヒシ）
物鴨
（モノカモ）

右二首

爲便毛無片戀乎爲登比日爾吾可死者夢所
（スベモナタカタコヒヲストコノゴロニ　ワガシヌベキハ　ユメニミエキヤ）
見哉

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

夢見而衣乎取服裳東間爾妹之使魯先爾来
ユメニミテ　コロモヲ　トリキ　ヨソフ　マ　ニ　イモガ　ツカヒゾ　サキダチニ　ケル

右二首

在有而後毛将相登言乎堅要管相者無爾
アリアリテ　ノチモ　アハム　ト　イフノミヲ　カタク（カタクイ）ニ　キメテシツヽ　アトハ　ナレニ

極而吾毛相登思友人之言社繁君爾有
キハミリテ　ワレモ　アハムト　オモヘドモ　ヒトノ　コト（コトコソ）シゲキ　ミキミ（キミ）アルラシ

右二首

氣緒爾言氣緊之妹尚乎人妻有跡聞者悲毛
イキノヲ（乞衝テ案ズベシ）ニ　ワガイキツキシ（将落）　イモスラヲ　ヒトヅマアリト　キケバ　カナシモ

我故爾痛勿和備曽。後遂不相登要之言毛不
ワ（カ）ユヱ（ユヘ）ニ　イタクナワビソ。ノチツヒニ　アハジト（イヒシ）　コトモ　アラ（チギリ）

有爾
ナクニ

右二首

門立而戸毛閉而有乎何處従鹿妹之入来而
カドタテテ　トモ　トヂテ（トヂテ）アルヲ　イヅク（イヅク）ユ　カ　イモガ　イリキテ

夢所見鶴

カドタテテ、トハサレタレドヌスヒトノ　エレルアナヨリイリテ　ミエケム

門立而戸者雖闔盜人之穿穴従入而所見牟

夢所見鶴

カドタテテ、トハサレタレドヌスヒトノ　エレルアナヨリイリテ　ミエケム

右二首

従明日者戀乍将在。今夕開速初夜従綾解我
アスヨリハ　コヒツヽ、アラム。コヨヒ　ダニハヤク（音ノ角立）　ヨヒヨモト　ケワギ

妹

イモ

今更将寢哉我背子荒田麻之全夜毛不落夢
イマサラニ　子ム（ヒト）ヤ　ワガセコ　アラタ　ニ　ノ　マタヨ　モ　オチズ（仁メニ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

所見欲

右二首

吾勢子之使乎待跡笠不著出乍曾見之雨零
ワガ世コ ガツカヒヲ マツト カサモ キデ イデツヽゾミシ。アメノフラク

爾
ニ

無心雨爾毛有鹿人目守乏妹爾今日谷相牟
コヽロナキアメニモアルカ。ヒトメ モルトモシキイモニ ケフダニアハム 阿同

右二首

獨宿杼宿不得而白細袖乎笠爾著沾乍曾
タヾヒトリヌレド 子 カヲ テ シロタヘノソデヲ カサニ キ ヌレツヽゾ

來
クル 利

雨毛零夜毛更深利今更君將行哉絁解設名
アメモ フルヨ モ フケニケリ 脱ヵ イマサラニキミハユカメヤ 歸 ヒモトキマケナ

右二首

久堅乃雨零日乎我門爾蓑笠不蒙而來有人
ヒサカタノ アメノフルヒヲ ワガカドニ ミノカサ キズ テクル ヒト キタル

哉誰
ヤ タレ

彼人の尊の故を爲家 あま衣笠きて内へ入ること 神代紀一書曰素盞嗚神結束青草以爲蓑笠而乞宿於諸神一諸神曰汝是躬行甚惡見逐諭者卿何爲如何乞宿於我一遂同距之是以不得留休而辛苦矣自爾以來世諺曰蓑笠蓑以入他人家内此大古之遺法也

纏向之痛足乃山爾雲居雨者雖零所沾乍
マキモクノ アナシノヤマニ クモヰアメハ フレドモ ヌレツヽ

烏來
ゾ クル

右二首

羈旅發思
タビノ ヲ

ワタラヒノオホカハノベノワカ　クヌギワレヒサヘラバ　イモコヒムカモ
度會大河邊若歷木吾久在者妹戀鴨
ワギモコヨユメニミエコトヤマトヂノワタルセゴトニタムケワレスル
吾妹子夢見來倭路度瀨別手向吾爲
サクラバナサキテヤチルトミルマデニタレカコムニテチリユクラニム
櫻花開哉散及見誰此所見散行
トヨクニノキクノハナニツコロニモナニトテイモカアヒシ助イヒシソメテムル
豐州聞濱松心喪何妹相之始
豐前　（一云ヘベ）　（一云阿）
右四首柿本朝臣人麿歌集出
ツキカヘテキミヲバミムトヨモカヘズテコヒノ
月易而君乎婆見登念鴨日毛不易爲而戀之
コヂキモ
重
（一云クリシ人ノナ）　コキノト　カヘリモクヤト　カヘリミ　ユケド　カヘラズミチノナガテ　（又曲）
莫去跡戀毛來哉常顧爾雖往不歸道之長手

凡旅ヨミ人不知

ヲ
矣
タビニシテイモヲモヒイテイチジロクヒトノシルベクナゲキセム　カモ
去家而妹乎念出灼然人之應知歎將爲鴨
サトハナレトホカラナクニクサマクラタビトヲ助オモヘバナヲコヒニケリ
里離遠有莫國草枕旅登之思者尚戀來
テカケレバナノミモキヽテナグサメツコヨヒヲコヒノイヤ
近有者名耳毛聞而名種目津今夜從戀乃益
ニサリナム
益南
タビニアリテコフレバクルシ。イツシカモミヤコニユキテキミガメヲミム
客在而戀者辛苦。何時毛京行而君之目乎將
クアレバトホケレバスガタハミエズツヒノゴトイモガヲミヒハオモカゲニレ
見
遠有者光儀者不所見如常妹之咲者面影爲

而
トレモ ヘズ カヘリキ ナメド アサカゲニ ミツラムイモガ オモカゲニ
年毛不歷反來嘗跡朝影爾將待妹之面影所
ナムト（思ニヤセテ）
狂見
タニボコノ ミチニ イデタチワカレコ シ ヒ ヨリオモフニ ワスルルトキナシ
玉梓之道爾出立別來之日從干念忘時無
（愛ノ字コヘカタシ中ヘマハノ可聞）
ハ シ
波之寸八師。志賀在戀爾毛有之鴨君所遺而
（然カ） アルコヒニモ アリシカモキミオクレテ
コヒレキ（オモヘバ）ク （戀トイヘバ公昔ヨリ云カノ如ク有モノニテ有シモノカモヘ）
戀數念者
クサマクラタビノ カナシケルナベニ イモシアヒミテノチコヒムカモ
草枕客之悲有苗爾妹乎相見而後將戀可聞
クニトホミタビニノアハズ（イユメニダニワレニ ミエコソ）アハムヒトヲ デニ
國遠直不相夢谷吾爾所見社。相日左右二

カクコヒム モノト シリセバワギモコニコトトハテレシイヘ
如是將戀物跡知者吾妹兒爾言問麻思乎（別時トクトモノラモエイハヌ）
（助クヤシモ）
之悔毛
タビノヨノ ヒサシクナレバ サニツラフ（ヒモトキサケズ）
客夜之久成者左丹頰合紐
ワギモコガ（吾ヲ）シタブラシ。クサマクラタビノ ヒモトクヒトモ
吾妹兒之阿乎偲良志。草枕旅之丸寢爾下紐
トケヌ
解
クサマクラタビノ コロモノヒモトケテオモホユルカモ。コノトシゴロハ
（古ノ妹ノ我ヲフレバカ紐ノトクルヘ）（丸寢ヘ）
草枕旅之衣紐解所念鴨。此年比者
クサマクラタビノ ヒモトクイヘノ イモシアラバ テナゲキスラ
草枕客之紐解。家之妹志吾之待不得而嘆良
（家ニ帰テ再妹ニ逢ミテ後コソカモ後ハイカニ逢ミズトモ旅ニクラベテ恋モセジトヤ）
霜
シモ

タヽツルギヽキ子レ　イモヲヨモツカズ
玉釵巻寝志妹乎月毛不經
クキ　（釵ハ物ヲマク物）
畳而八将越此山
ヤマノカミ　（宦官ナドニテ他国ヘ行ヲ）
岫神
アヅサユミスエハレラヂドウクレミキミニ　（男女中ノ行末ヲ旅先ヲ兼ネ）
梓弓末者不知杼愛美君爾副而山道越来奴
カスミタツハルノナガヒヲオクカナクレラヌ　（妻ヲ具ノ邪行ズル事）
霞立春長日乎與香無不知山道乎戀乍可將
（往来ニ六ヽ三之日奥底ナク）
來
ヨソキノミキミヲアヒミテユフダヽミタ
外耳君乎相見而木綿牒手
コエナム
越將去
タヽカツヽ
玉勝間安倍島山之暮露爾旅宿得爲也長此
タビ子ハエスヤナガキコノ　（エモムヤト心）
夜乎
（猶吾山之麓有神号久瀬社不知其本基毎歳四月中亥
社鳴動山止有ト神号久神社大物主神之御父宮也昔日有吾市連君取娘嫁此神今後為一
ミユキフル心為鹿坐下矣其後孫子所也大神者相殿也云々）
オホヤヽユキスギテイツノヒニカワガサトヲ　ミム
三雪零越乃大山行過而何日可我里乎將見
（名打ノ山麓有琉珀今猶在民用取之為
イデアガコヽハヤクユカムヨ　ヽツチヤヽヽツラムイモヲ　ユキテ　ハヤミム
乞吾駒早去欲亦打山將待妹乎去而速見牟
（駿河手）
（ナビキタル山コソイモガアタリミム）
惡木山木末悉明日從者廢有社妹之當將見
スベカガハヤソセワタリテタレユヘカヨゴエニコエムツヽヽモ
鈴鹿河八十瀬渡而誰故加夜越爾將越妻毛
アラナクニ　（夜道ヲ憚ルヘシ）
不在君
ワギモコニヽタモアフミノヤスガハノヤスイモヲズニコヒ
吾妹兒爾又毛相海之安河安寢毛不宿爾戀
（野洲郡）
ワタルカモ
渡鴨
（河ノ緣）

越中ニモ越前ニモ大山アリ
和名アレキ山尾張乎又近江志賀ニモ有
催馬楽鈴鹿川
凡旅ヨミ人不知タビヲレカチツ
玉旅ヨミ人ニヨズ

潮 ウ字本可用

タビニ アリテ モノヲ ゾ オモフシラナミノ 船中ニテノ寄
客爾有而物乎曽念。白浪乃邊毛奥毛依者無
爾
ミナトワ ニ ミチクルシホノ イヤマシニ コヒハ マセドモ 古本訓
湖轉爾滿來塩能彌益二戀者難剰不所忘鴨
オキツナミ ヘ ナミノ キヨル サダノウラノ コノサダ スギテノチコヒム
奥浪邊浪之來依貞浦乃此左太過而後將戀
カモ 見十一之三十六
鴨
未考和名雅在千方統奇宗像郡荒自村北津屋崎ト荒自村トノ間ヘト
アリテ ガタアリナ グサメ テ ユカメ ドモイヘナルイモヤ 也ト通 有テヲバ妹乃待カ
在千方在名草目而行目友家有妹伊將鬱悒
ミ顕昭曰ツノクシ コロツクシテ オモカモコノ ヒダ モ モトナ ユメニシ助 ミユル
水咫衝石心盡而念鴨此間毛本名夢西所見
ワギモ 越ヌハ思ヤアタトシヨリヤビギヨリ受テトヲヨ略ス フルトハヤビギヨリ アヒソ ニ ワガコロモデ ハ ヌレニケル
吾妹兒爾觸者無二荒礒回爾吾衣手者所沾

カモ
可母
ムロノ ウラノ セ トノ サキナル 古郷妻ノ恩ヲ泣ニヨス
室之浦之湍門之崎有鳴島之礒越浪爾所沾
カモ 涙ヲカスル
可聞
ホトヽギス ト バタノ ウラニ レキヌ ニ ケリ
霍公鳥飛幡之浦爾敷浪之屢君乎將見因毛
カモ 石見ト八雲ニ有或云伊勢両統共ニ心得カタシ
鴨
ワギモコ ヲ ヨソノミヤ ミム。 コシ 和訓カルヽムトヨメバ借ルニ
吾妹兒乎外耳哉將見。越懈乃子難懈乃島楯
ナ クニ オチノウミノ レバ ガタノウミノ レヤナラ
名君
ナミマ ヨリクモ ヰ ニ ミユルアハレノ 才十六周沖ニモ有又次国ニモ有
浪間從雲位爾見粟島之不相物故吾爾所依
アハヌ モノユヘ ワレニ ヨル

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

コラ
兒等
（雲ニ有見ト云リ未考）
衣袖之（真神心ニテマク）
コロモデノ　マナゴ　ワカノ　ウラノ
（紀州若浦カ）
眞若之浦之愛子地間無時無吾戀纒
ノ　トノウミニ　ツリスル　アマ　ノ　イ　サリビ　ノ　ヒカリニ　イ　テザヅキ
能登海爾釣爲海部之射去火之光爾伊往月
ニチガ　テラ
待香光
レ　カ　ノ　ア　ニ　ノ　ツリ　ヒト　シ
思香乃白水郎乃鉤爲燭有射去火之髣髴妹
ヲ　ミ　ヨシモ　ガ　カ　モ　釣仲
乎將見因毛欲得
ニハ　ガタ　コギ　イヅル　フネノ　ハルヽヨ　ロ
波方水手出船之遥遥別来禮杼忘金津毛
ウラワ（雄渡ノ事ノ）　コグ　ヲトメノ　フナツキメ　ヅラニ
浦回搖熊野舟附目頬志久懸不思月毛日毛
（熊野ヘ行ク十八日世九丁ニ真土熊野船トヨメル同ジ水手ノ名ナヘ）　（附目ニ附目）

（拾意ニヨミ名ヲ月ニ悉ク坂上郎女）
（能登ヘ行ク人ノ離別ニ妻ノヨミテヲクレルナルヘシ）
（續千旅ヨミ人不知ワカレクレトモ）
（續後撰旅メニミアハニカノ戀ニテノ意ニ）

ナシ
無
ニツラ　フネ　ミヲ　ハヤミカヂトル　ナクオモホユルカモ
（コギ乱レ名ノ筑紫船ノ雄渡瀬江ヘ多ク入来ル）　（今モシカアルヲ）
松浦舟亂穿江之水尾早機取間無所念鴨
（亂）　ホリエ　ノ　ミヲ　ハヤミカヂ　トルマ　ナクオモホユルカモ
イサリスル　アマ　ノ　カヂオト　ユ　（寛）クラカニイモガコトロニノリニテルカモ
射去爲海部之檝音湯鞆妥于妹心乘来鴨
ワカノ　ウラニ　ソデサヘヌレテ　ワスレガヒヒロヘド　イモハ　ワスラエナク
若乃浦爾袖左倍沾而忘貝拾跡妹者不所忘
ニ　（行官）
爾

或本ノ歌ニ末ノ句ニ云忘可禰都母
クサマクラタビニヒヌレバ　カリコモノ　ミダレテイモニ　コヒヌヒハナシ
草枕羈西居者苅薦之擾妹爾不戀日者無
ニカノ　アマ　ノ　イソニ　カリホス　ナノリソノ　ナハツケテ　ヨバレシヲ
然海部之礒爾苅干名告藻之名者告手師乎
（官ノ）

如何相難寸 ナゾ アニガタキ クニトホミ キモヒナワビソ。カゼノ ムタクモノ ユクゴトク ハ カヨハ
国遠見念勿和備魯風之 共雲之行如言者將
通 ム
松ニ動シヒトヲ オモフニ アキノニサルシラクモノヤムトキモナシ
留西人乎念爾蜉野居白雲止時無 (思フトニ)

悲別歌

浦毛無去之君故朝且本名烏窓相跡者無杼 (薄情ナルヲ云ヒ俗ニウカリトシタト云ヒ俗ニクイニシ ギミユヘ アサナサナモトナゾ コルアフト ハ ナミト中院 ナケドナケド下)
白細之君之下紐吾左倍爾 (吾共ニノ心) ニ ケフ ムスビテ ナ。アハム
日之爲 ノ タメ 今日結而名將相

シロタヘノ ソデノ ワカレハ シシアドキモヒ (俗ニトリシキテヤルヤイトヨシ 武烈紀殺嬰ト太子トノ一 下ニ同)
白妙之袖之別者雖惜思亂而赦鶴鴨
ミヤコ ベニキミハ イニシヘヲ タレトケバカ ワガヒモノヲノ ムスビテトケ (宮)
京師邊君者去之乎孰解可言紐緒乃結手懸
モ モ (トケガシ) (ユフテ タエシキ 上ニ廿八)
毛 毛
クサマクラタビユクキミヲ ヒトメ ダニミツテクラズ シテアシタクヤン
草枕客去君乎人目多袖不振爲而安萬田悔
モ モ
毛
ソノカミテニ トリモチテ ミレドアカヌ キミニ オクレ (後ニカリ用テイタル)
白銅鏡手二取持而見常不足君爾所贈而生
トモ ナシ (跡宮)
跡文無
クモル夜ハタトクニヒバタツキモシラズト云ニ為ニ夜山ヲ越トキハ非ス
クモリヨノ タドキモ シラズ ヤマコエテ イニス キミヲ バイツシカ (古本ニ)
陰夜之田時毛不知山越而往座君乎者何時

一タム

將待 タタ ナ ツクアヌカキヤ ノ

田立名付青垣山之隔者數君乎言不問可聞 オホ六 アサガスミタナビクヤ ヨヲ コエテ イナバ ワレハ コヒム ナ。アハム ニ ヤテニ

朝霞蒙山乎越而去者吾波將戀奈至于相日 アレビキノ ヤ ハ モ ヘニカクストモ ヰモハ ワスレジダニアフマデニ

足檜乃山者百重雖隱妹者不忘直相左右二 カクセドモキミヲ キモハク ヤム トキモ ナシ

一云雖隱君乎思砦止時毛無 クモ井 ナルウミヤ コエテ 倭歌出テ ユキナバ ワレハ コヒム ナ。ノチ

雲居有海山越而伊往名者吾者將戀名後者 アピ。ヌ トモ ニハノスミスルトアイヌルトニノ心アリ

相宿友 ヨラ ミニ エヤ ヤ 神ヰ 道凡手跡本ニ師ニ作ル可シ官本ニ依レリ コヒジ トスレド

不欲惠八跡不戀登爲杼吾 ドノ字リ氏ナドニ云ハ次方ニ改ムベシソノ心ニテカリ用ユ

之所念良國 クサカゲノ アラ井 ノ サキノ

草陰之荒蘭之崎乃笠島乎見乍可君之山道將越 コユラム

越良無 ニ サカコユラム

一云三坂越良牟 タ ニ カツテ ニ ヤ ニ ノ ユフグレニヒトリカ キミガ ヤマヂ コユラム

玉勝間島熊山之夕晩燭可君之山道將越 和名武藏橫見郡御坂美作

一云暮霧爾長戀爲乍寢不勝可毋 イキノヨ ニ ワカオモフキミハ ナガコヒニ ツヽイチジルク アツニ カモ

亂緒爾吾念君者鷄鳴東方坂乎今日可越覽 景行紀 トリガカクアツマ ノサカノ ウヘノ ホヲ 伝足柄ノ坂ヲ云ヘルヘシ

磐城山直越來益礒崎許奴美乃濱爾吾立將 タヾチニコエル道 ミ ノ ハ ニ ワレタチニタ

此寄三坂越之下王勝間之上 官本

倭姫世記十四年○草陰阿野國白豆

島熊山八雲ニ掛ル由如何ノ事後ニ尋ヌベシ東海道ノ寄ヘ

此寄ノ物語續寄林良材ニアリ 十四十七丁同人合

待 カスガノ、アサヂガハラニ オクレ井テ トキゾトモナシレワカコフ
春日野之淺茅之原爾後居而時其友無吾戀
ラクハ 奈良ノ都ヲウツサレテ跡ニ残リ居ル女ノ哥ナルヘシ
良苦者
スミノエノキシニ ムカヘル アヂキシマアハレトキミヲイハヌヒ
住吉乃崖爾向有淡路島阿怜登君乎不言日
何仲
者無 アスヨリハ (心ハ出テイナム心慨歎ノ)イナミノカハノイテヽイナバ トマレルワレハ コヒツヽヤアラム
明日從者將行乃河之出去者留吾者戀乍也
トマル河
將有 ワタノソコオキハ ヲロシテムヲ (迴宮)ヨリコギタミ(来)ニセツキハヘヌ (月ハ月次ノ月ヘ吉休如此)
海之底奥者恐礒回從水手運往爲月者雖經
カセ

過 (越前敦賀郡)ケヒノウラニヨスルシラナミシクシクニ イモガスガタハオモホユルカモ (如今旨)
飼飯乃浦爾依流白浪數布二妹之容儀者所念香毛
紀伊 大和物語 出テ寝ヌル
時風吹飯乃濱爾出居乍贖命者妹之爲社
ニギタツ(伊漑)ニフナノリセムトキミ、シナヘキナニカモキミガミ
柔田津爾舟乘將爲跡聞之苗如何毛君之所見不來將有 (イマダ君ガミヘヌハナゼニト)
サゴイルスニヲルフチノコギイデナハウラコヒシケムノチハ (下ニ)
三沙呉居渚爾居舟之榜出去者裏戀監後者
アヒヌトモ
會宿友

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

タ〻カヅラクエズ　ユカサ子ヤ〻スゲノ　キモヒミダレテ　コヒツヽ〻タム
玉葛無怠行核山菅乃思亂而戀乍將待
キクレ井テ　帰ルコモハヤケムズ〻アラズ　ハタゴノウラノ〻アヽナラ〻シヲ
後居而戀乍不有者田籠之浦乃海部有申尾
タ〻モカルヽ　駿河ノ国ニ行ク妹ヲ妻ノヨメルヲ寺トミヘタリ
珠藻苅苅
ツクシヂノ　アライソノタ〻モ　（假ト藻ヲ刈トミ類ス　カリニカモギニカヒサシクミテドコザラム　ソニキヽサワマ　ハ
筑紫道之荒磯乃玉藻苅鴨君乎待不來
アラタ〻ノトシノヲ　ナガクテルツキノアカレヌキミヤ　アスワカレナム
荒玉乃年緒永照月不厭君八明日別南
ヒサニアラム私　キミヲオモフニ　ヒサカタノ　キヨキツキヨモ　ヤミニノミミユ
久將在君念爾久堅乃清月夜毛闇夜耳見
カスガ　ナル三　カサノ　ヤ〻ニ　井ルクモヲ　イデミルゴトニキミヲ　ヒ助ソ
春日在三笠乃山爾居雲乎出見毎君乎之曾
オモフ　平山ノ神女ノ丁思ヒ合スヘシ
念

顕宗紀脚日末　此傳山

アレビキノ　カタヤ〻キヽスタチコカム　キミニ　キクレテ　ウツシ　ケメ
足檜木乃片山雉立往牟君爾後而打四鏡見
ヤモ
八方

悲別問答

問答歌

タ〻ノヨノ　ウツシゴヽロヤ　（玉緒）　ヤソカデカケコギ　イテム　フネニ　オクレテ
玉緒乃徒心哉八十梶懸水手出牟船爾後而
ヨラム將　緒ヲウト云モヽク　（櫓ニタノ櫓ナル故ニ八十梶ト云　ウツヽナラムヤ　夢ノ様ニテ更ニウツヽニモセミヘヌ云後ノ心アルマジキヽ
將居
ヤソカデカケコギ　イテム　フネニ　オクレテ
八十梶懸島隠去者吾妹兒之留登將振袖不
エヤゴカケモ　コガ　トヽレト　フラム　ソデミ
所見可聞

右二首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

三代実録云六
新羅賊舟二艘
来国荒津到来
今訛云荒戸
トニ云

カミナヅキニグレノアメニ沾ヌレツヽヤキミガ ユクラムヤドカ カルラム
十月鍾禮乃雨丹沾衣哉君之行疑宿可借疑
カミナヅキアマリシグレニモモカズフリニ助セバタガサトノアマニヤドカ
十月雨之間毛不置零爾西者誰里之間宿可
カラコロモ アメノ私
借益

右二首

ニロタヘノソデノカタヲ別レテクヽリテ カタミニシテアラツ筑前ノハニヤドリスル
白妙乃袖之別乎難見而荒津之濱屋取爲
カモ 妻ヲ別テ遠ク夫婦モ共ニクタリテヨメルナルヘシ
鴨

クサマクラタビユクキミヲアラツマデ ネクリノ誰カ
草枕羈行君乎荒津左右送來飽不足社

右二首

アラツノウミワレスサミツリイハヒテムハヤカヘリマセナモガハリ 世テ
荒津海吾弊奉將齋早還座面變不爲
アサナサナツクシノカタヲイデミツヽヲナクノミワレナクイトモスベ
早早餝紫乃方乎出見乍哭耳吾泣痛毛爲便
ナミ
無三

右二首

トヨクニノ豊前企救郡
豐國乃聞之長濱去晚日之晉去者妹食序念
トヨクニノキクノタカハマユキクラムヒノクレユケバイモヲシゾ助キモフ
豐國能聞乃高濱高高二君待夜等者在夜深
キミマツヨラハサヨフケニ
来

右二首

是ハ別テ後ノ返事ナルヘシ

孝徳紀不易面来カヘリカヘリ
変賊従日本化来五宣命

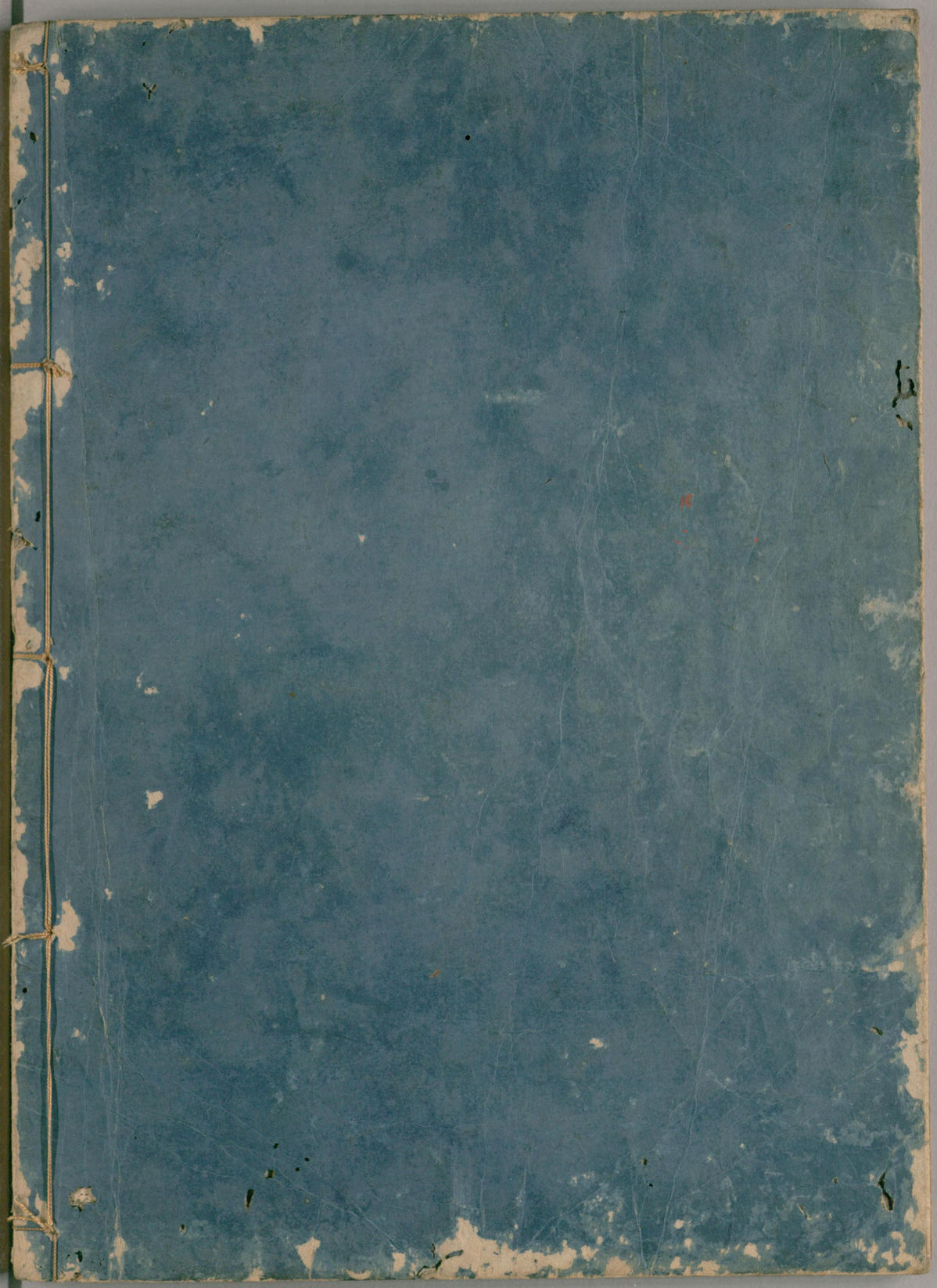
是ハ旅ノ今ニアラズコトハノ同ヒキ故コヽニマキレリ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

857
47

萬葉集卷第十二

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用